

発想飛びコンテスト 第49回発表

お題で指定された「メロンを食べると」から「クイズ王になる。」の間を、
博学多才な6つの文章でつなげてください、というコンテストです。

大事な大事な発想チャンス。

佳作

メロンを食べると⇒きゅうりにハチミツをかけて食べ比べしたくなる⇒きゅうりの消費量が増える⇒きゅうりが手に入らず、カップが生活に困る⇒仕方なくカップは街で出稼ぎをすることに⇒より良いきゅうり生活のため、人間社会について猛勉強⇒知識を蓄えたカップがクイズ番組に出場する⇒クイズ王になる。

(けーえぬわい 福岡市)

*

メロンを食べると⇒お代わり欲しさに通販で大きなメロンを注文する⇒ボッカチオの小説「デカメロン」が届く⇒内容を深く研究するためイタリアへ行く⇒ピサの斜塔で物体の落下実験を行う⇒帰りのチケットまでも落とし紛失する⇒日本旅行券を賞品にもらえるクイズ番組に出る⇒クイズ王になる。

(あさかぜ7号 国分寺市)

*

メロンを食べると⇒土にうメロン、心をこメロンなど駄洒落を言いたくなる⇒中でも「お金をたメロン」が気に入る⇒お金の無駄遣いをしなくなる⇒点けばなしの電化製品があるとすぐに消すようになる⇒スイッチを見ると条件反射で誰よりも速く押してしまう⇒高速にスイッチを押す癖を活用できる場を探す⇒クイズ王になる。

(山nn 立川市)

*

メロンを食べると⇒残った種を保存して次の夏にも食べようと提案する⇒来年の話をしたので鬼に笑われる⇒腹が立ったので鬼退治す

る⇒鬼の金銀財宝が手に入ったが贈与税の対象になる⇒鬼杯クイズ大会を主催して経費と賞品にして使い切る⇒大盤振る舞いに喜んだ人々から立派な方だと称えられる⇒クイズ王になる。

(サラダボール 美濃加茂市)

●短評●ここ最近で比較すると多くの応募が集まりましたが残念ながら入選は出ず。豊作なれど傑作なしといったところでしょうか。というわけで4本が佳作入賞です。けーえぬわい作はメロンから1段できゅうりの話へ飛ばし、終始きゅうりの話で押し切った力量が高評価。あさかぜ7号作は中盤一気にイタリアへ飛び、無事に日本へ帰れそうなハッピーエンドの着地で見事。通販業者にも花マル。山nn作は前半で審査員一同の賞賛を集めました。後半やや息切れで惜しかった。サラダボール作はおそらく唯一「クイズ王」という言葉の解釈で独自色を出し競り勝った。こうして歴史とクイズは作られていくのです。

第50回応募方法

●賞品

入選…ニコリ高級フリクション

佳作…ニコリ大学ノート

敢闘賞…ニコリカード

●第50回のお題

①半分こをすると

↓

⑧沼にハマる。

指定された「お題」を、うまく8段階の発想飛びでつなげてください。各段は25文字以内の文章として完結させてください。各段での出来事が次の段で思わぬ影響をもたらしている（発想が飛んでいる）と高評価になります。巻末ハガキの「発想飛びコンテスト」欄をご利用ください。他の紙（ハガキかハガキ大の紙）での応募やネット応募（P.56参照）も可能です。締め切りは2025年10月15日（水）当日消印&送信有効。発表は次号です。

